7. 退院支援の必要性に関する次の文を読み、適切なものの組み合わせを回答欄の a)~e)の中から選びなさい。(2点)

- 1) 我が国では、手術患者は、術後、創が完全に治癒し自立した生活ができるまで入院して治療を続ける。
- 2) 近年、一人暮らしの高齢者あるいは高齢者のみの世帯が増加しており、これらの人々は、地域の人々に支えられて生活している。
- 3) 医療法において、病院は地域の福祉サービスと連携をとり、人々に継続した医療が行われるようにしなければならないことが決められている。
- 4) 訪問看護は、我が国の医療・福祉サービスのなかで在宅系・医療系のサービスとして分類できる。
- 5) 退院支援が必要になった背景には、在院日数の短縮化し、医療や介護を必要とする状況で退院する人々が増えてきたことがある。
- 6) 退院は、人々にとって生活中心の日常から、治療専念の日常への転換点という意味をもっている。
- 7) 病院が在宅(自宅)と異なる点として、高度医療の提供や病状変化に対応できる設備や専門職者がいることがあげられる。
- 8) 我が国には、退院後の患者に家族が介護を行うことができない場合に対応できる長期療養可能な病院や高齢者施設が整っている。

- a) 1) 3) 6) 8)
- b) 3) 5) 7) 8)
- c) 2) 3) 5) 7)
- d) 3) 4) 5) 7)
- e) 1) 4) 5) 8)

8. 慢性病についての説明文である。正しいものには○を、間違っているものには×を解答用紙に記入しなさい。(1点×3=3点)

- 1) 生活習慣病は、生活習慣が発症・進行に関与する疾患群であり、一次予防(健康増進・疾病予防)よりも二次予防(早期発見・早期治療)に重点を置く。
- 2) 慢性病は、慢性・長期的な疾病を有し、不可逆的な変化をもたらすもので、完全治癒が望めない状態であり、症状コントロールや合併症・二次障害の予防のために自己管理が必要となる。
- 3) 慢性疾患の急性増悪期には、生命危機の状態あるいは著明な苦痛症状が出現してくるため、治療などにより増悪因子を取り除くことができるように生活の再調整を促す援助が必要となる。

次頁あり